

主要事業マネジメントシート

部局名 住宅まちづくり部

継続

事業名	うめきたまちづくり推進事業費 / 担当室課 都市空間創造室 【H27年度継続】						
予算額	H24 H25	千円() 千円()	H26 H27要求	3,400 千円() 4,000 千円()	実績	H24 H25	千円() 千円()
事業の優先性	<input checked="" type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】 <input checked="" type="checkbox"/> 成長戦略 <input type="checkbox"/> その他		(項目名: 成長を支える基盤整備(うめきた2期)) (項目名: 都市の再生) (項目名:)		<input type="checkbox"/> 人口減少関係 (項目名:) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン (項目名:)		
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他(理由) 民間提案を受けるための調査事業である。		行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村の役割(理由) うめきた2期区域を含む大阪駅周辺地域は、優れた交通利便性を備え、企業の集積・都市基盤の整備が高度に進んだ地域であり、大阪駅の南側も含め、さらなる都市拠点化を推し進め、より一層強力な国際競争力を形成すべき地域である。うめきた地区のプロジェクトはそこだけで完結するのではなく、隣接する区域、ひいては大阪駅周辺地域全体に効果を及ぼし、一体的に成長・発展させることが重要である。そのため、周辺への波及効果が期待できる2期区域の中核機能の具体的なテーマ(先行開発区域における「ナレッジキャピタル」など)や新たな規制緩和により2期区域のまちづくりの効果を周辺に波及させる方策、及びエアリアマネジメントによるまちの管理運営を周辺に拡大させる方法について検討する。 なお、エアリアマネジメントについては、うめきたの周辺だけでなく、それ以外の他地区においても実施できる方策を検討する。	
	事業手法	手法の妥当性	公募実施主体(予定)であるURと、みどりの地権者となる大阪市と大阪府の3者で実施する。				
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:)) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:)) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない				
		将来のリスク管理	調査検討業務であり、該当しない				
	事業間調整	庁内での連携	企画室、財政課、商工労働部、環境農林水産部、都市整備部と庁内検討会を開催し、調整を行っている。				
他事業との整合性等							
事業効果	目標・指標	(事業目標)	うめきた地区の事業効果を大阪駅周辺地域全体に及ぼし、一体的に成長・発展させる			-目標に達しなかった場合の改善方策	
		(指標)	うめきた先行開発区域でのエアリアマネジメントのエリアの拡大、うめきた周辺地域開発の誘導				
	(実績)						
コスト分析	(事業期間)	H 27 ~ H			(コスト分析結果)		
	(指標)	H24(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円 H25(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円					
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合に記載>						